

薬のいらない健康法



日本人の死亡原因

皆さんが今一番心配なことは、ガンのことだと思えます。一九七五年にはガンで死ぬ人が約一三万六〇〇〇人でした。当時は医師の数も約一三万人でほぼ同じです。今、医師の数が二八万人います。この三十数年間で、ガンに関する研究、治験、治療法は非常に進歩していますが、去年ガンで死んだ人が三四万人くらいになっています。一昨年が三三万人くらいです。ガンにおいて今の医学は殆ど無力という状態なのです。二番目に心配なのが、心筋梗塞という心臓病です。心筋梗塞は、戦前は殆どなかったのですが非常に増え

ています。心臓の筋肉に栄養を送っている冠動脈に血栓が起こって、心臓の筋肉が壊死を起こして動かなくなつて起こる病気です。

三番目が脳卒中です。日本人の脳卒中は昭和三〇年代までは脳出血ばかりでしたが、この頃から徐々に減り、脳梗塞つまり血栓症のほうが増えてきています。

四番目が肺炎、気管支炎という感染症です。抗生物質があるので、肺炎になつても大方治ります。肺炎で亡くなる方はかなり高齢の方か、中高年で抗ガン剤を服用している方です。また、リウマチや喘息、膠原病でステロイドホルモン剤（プレドニンなど）を服用し

石^{いし}
原^{はら}
結^{ゆう}
實^み